



いかごっこ

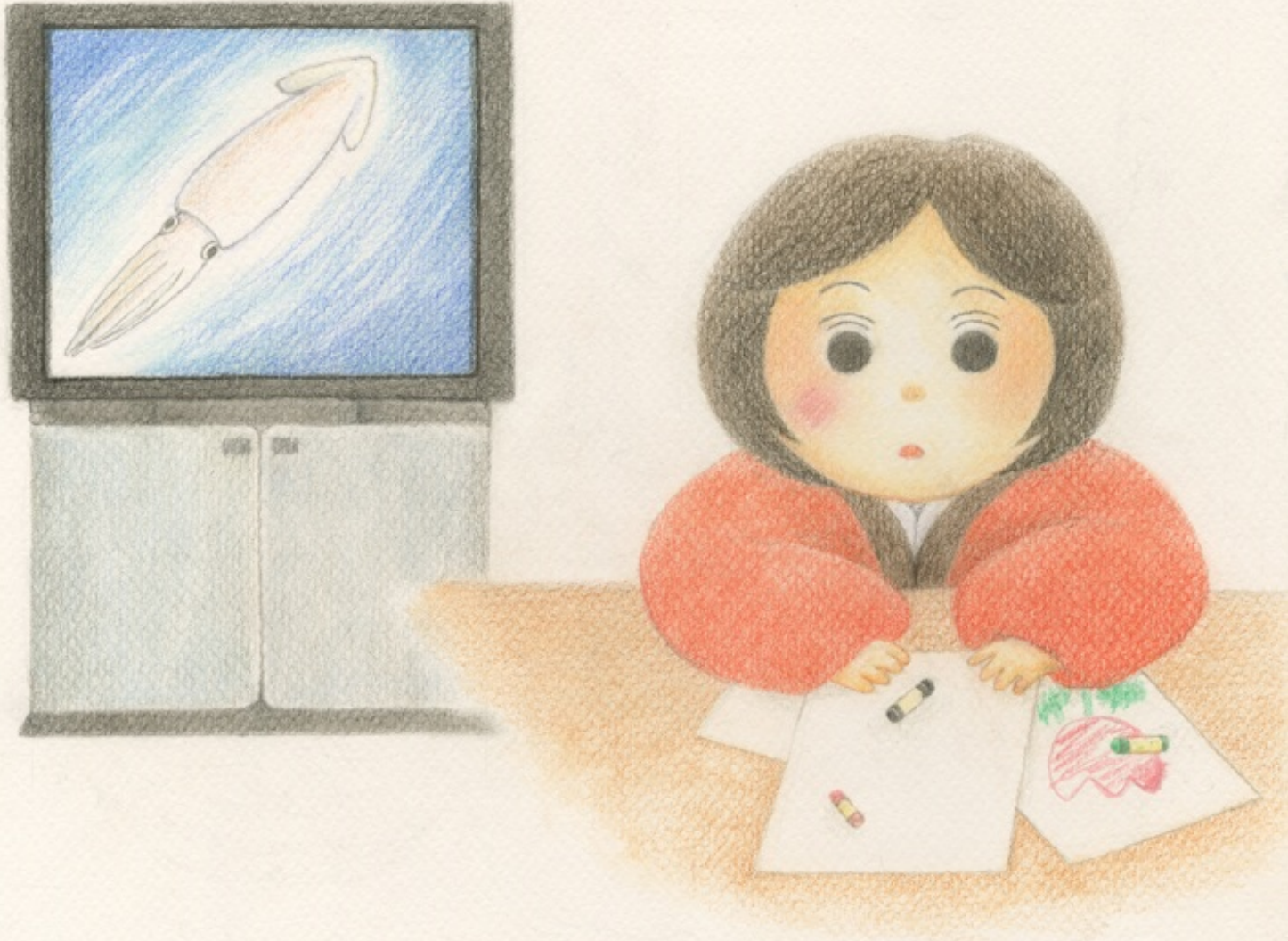
作 かっぱ



きょうはひとりでいるすばん。

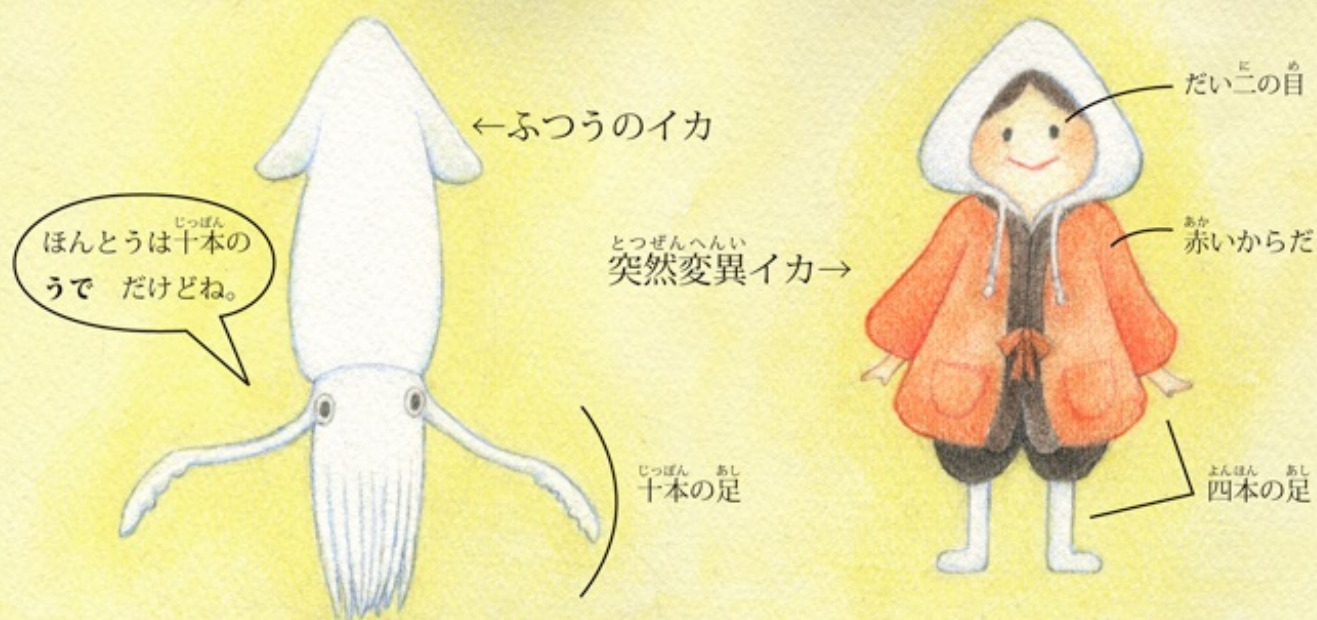
「あーあ、ひとりでつまんないなあ。
テレビばかりで あきてきちゃったよ。」

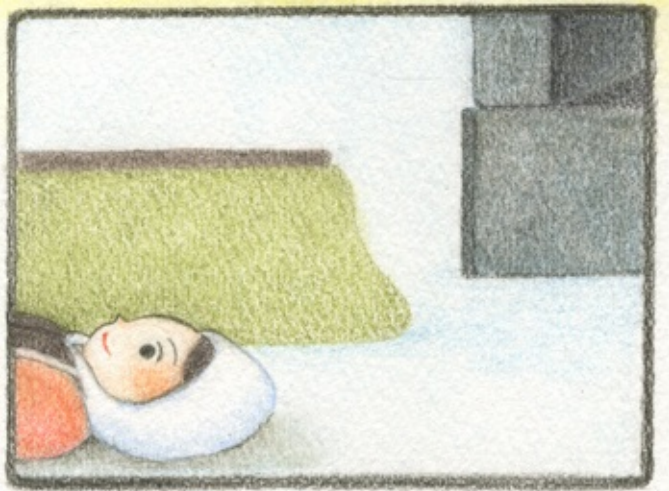
「あ・・・イカだ。」



『イカは海水をからだにとりこみ どうをしんしゅくさせ、
その海水をふんしゅつすることで ジェットエンジンのように
はやくおよぐことができます。』

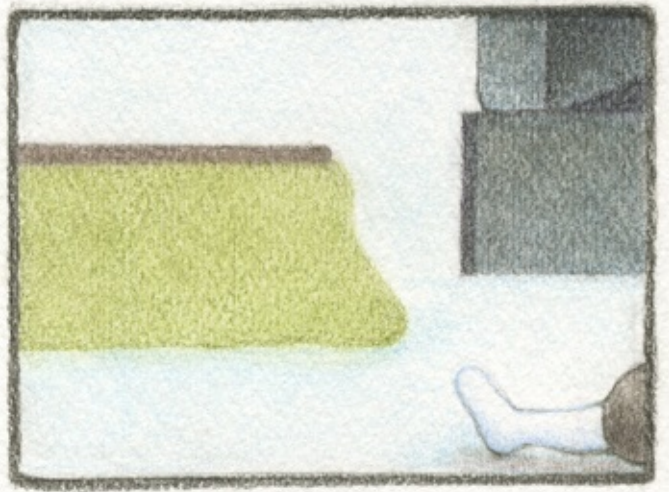
そうだ、いかごっこをしよう！





すーい

すーい



ふしぎな赤白イカのおんなの子は

およいでいきます。

あ



めだまやきが空にういてる！



おんなの子は、なんだか たからものを見つけた気ぶんになりました。

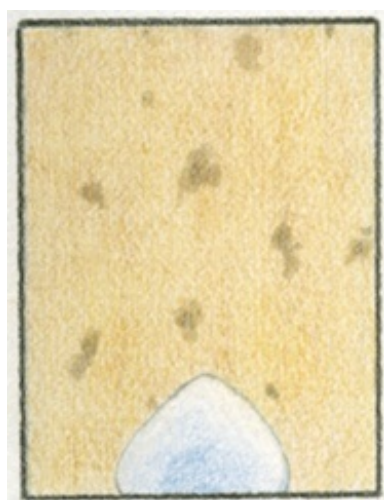
「ほかにも さがしてみよう」

おんなの子は、また およぎはじめました。



あいている とびらから、ろうかへ

すーい すーい



すると、目のまえに なにか見えます。

「うさぎちゃんに りんごに

それから えびフライだ！ えへへへへ」



それを 見ながらおんなの子は また

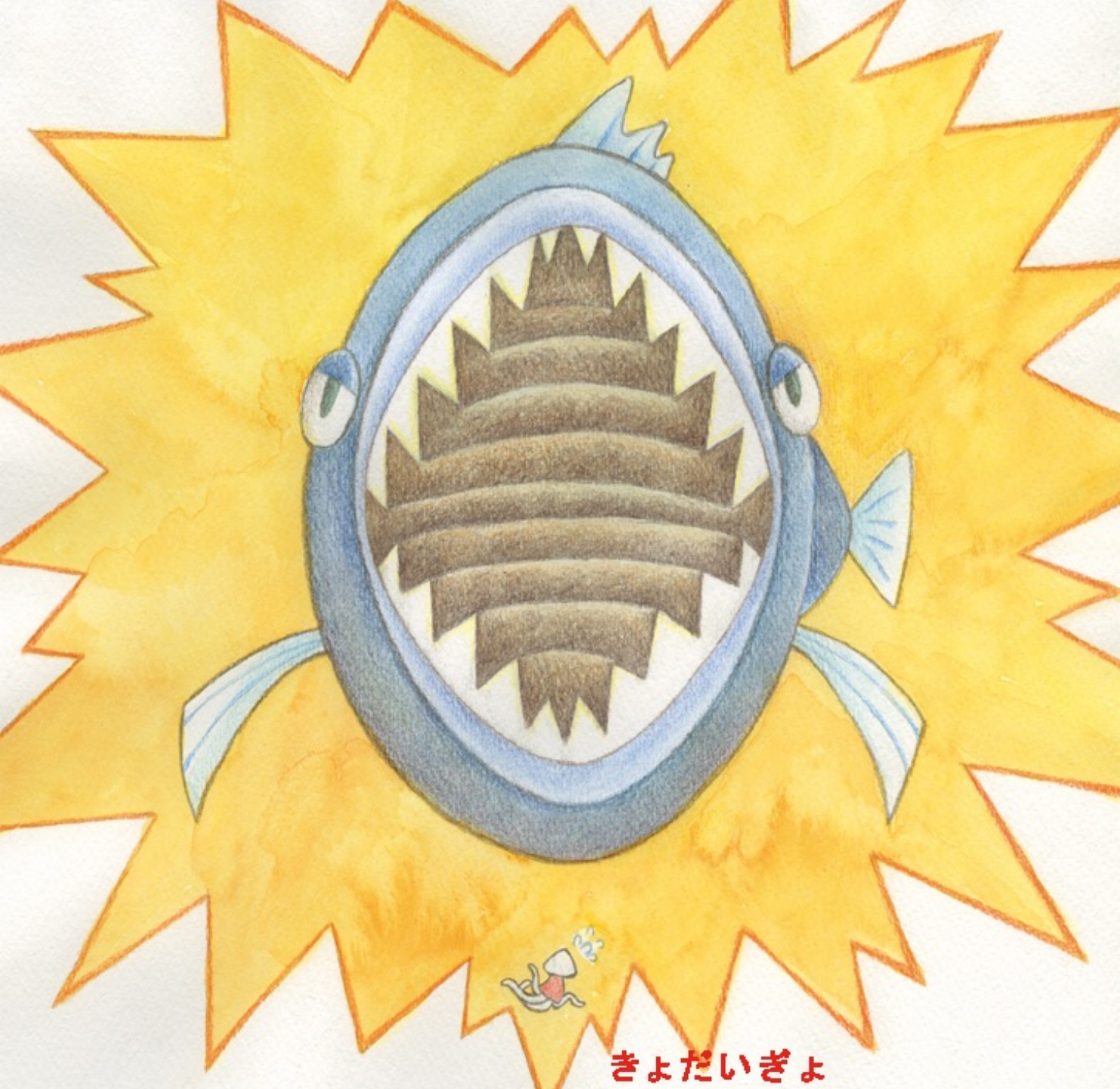
すーい すーい



すすんでいくと、こんどはなんでしょう



あれは・・・



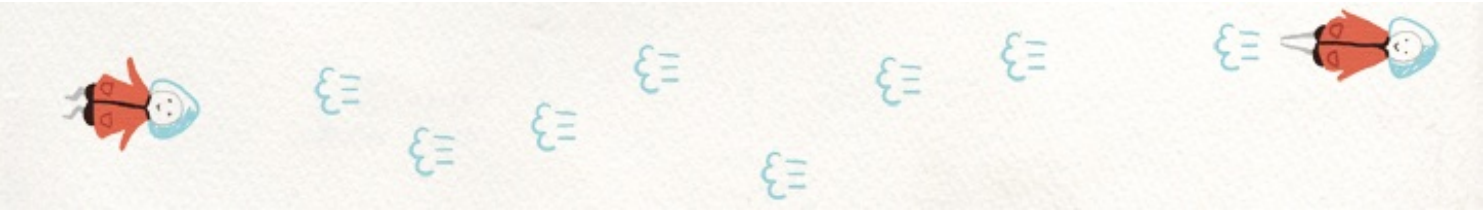
きよだいぎょ
イカをたべる巨大魚！！

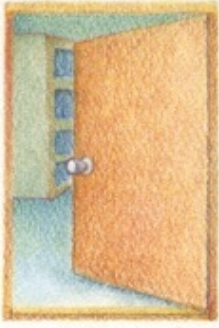
「ひ、ひとまずたいさーん」

と おんなの子はちがう ほうこうへおよいでいきました。

すすすーい

すいすい





巨大魚からにげてきた おんなの子は、
おとうさんの へやのまえまでやってきました。

すると・・・

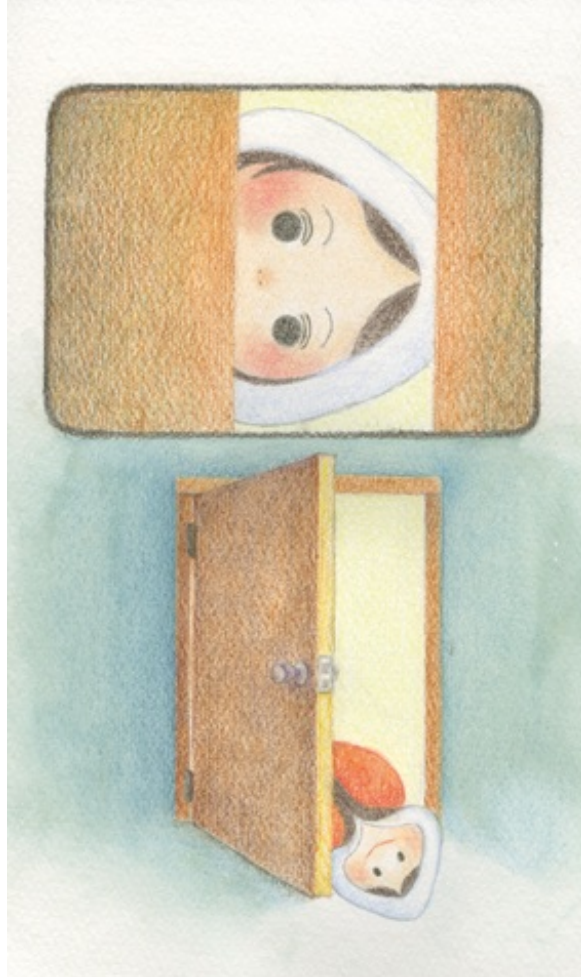
「あれ、あいてる」

いつもは かぎのかかっている とびらが
あいていました。



おんなの子は気になって

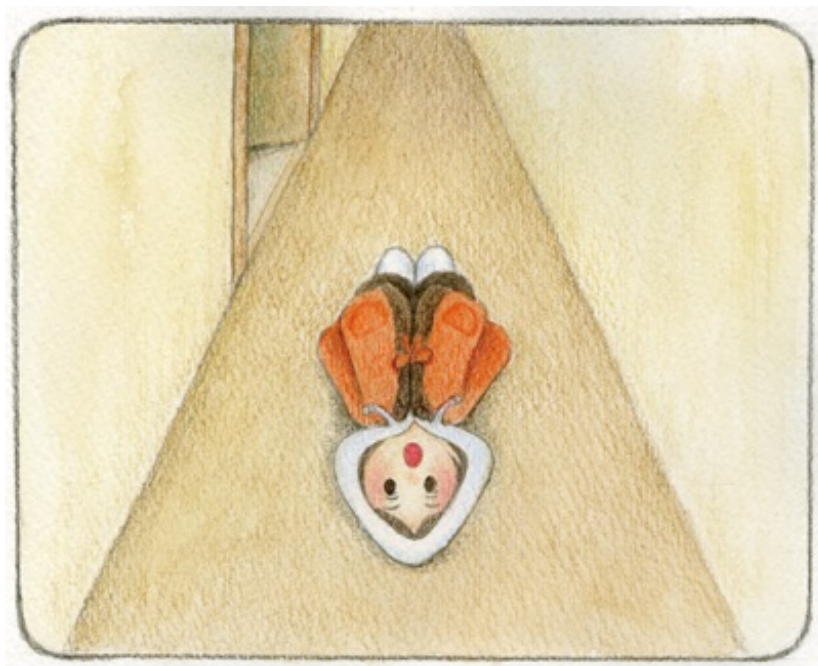
そうっと 入っていききました。





うわぁ . . . 巨大タワーだぁ

巨大タワーを見学しおえた おんなの子、
「こんど わたしの本もなかまに入れてもらおうっと」



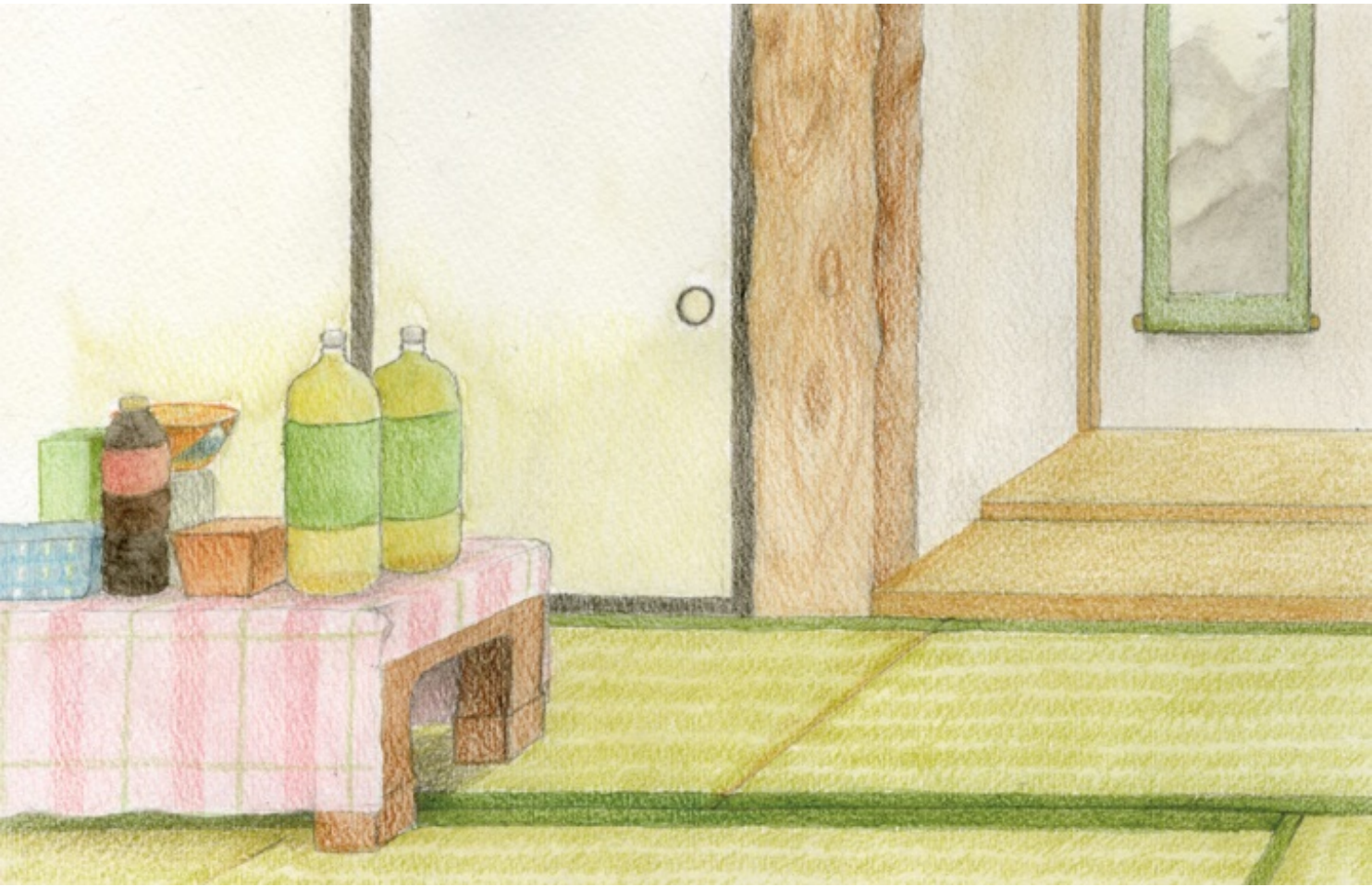
うきうきした 氣ぶんで

すーい すーい

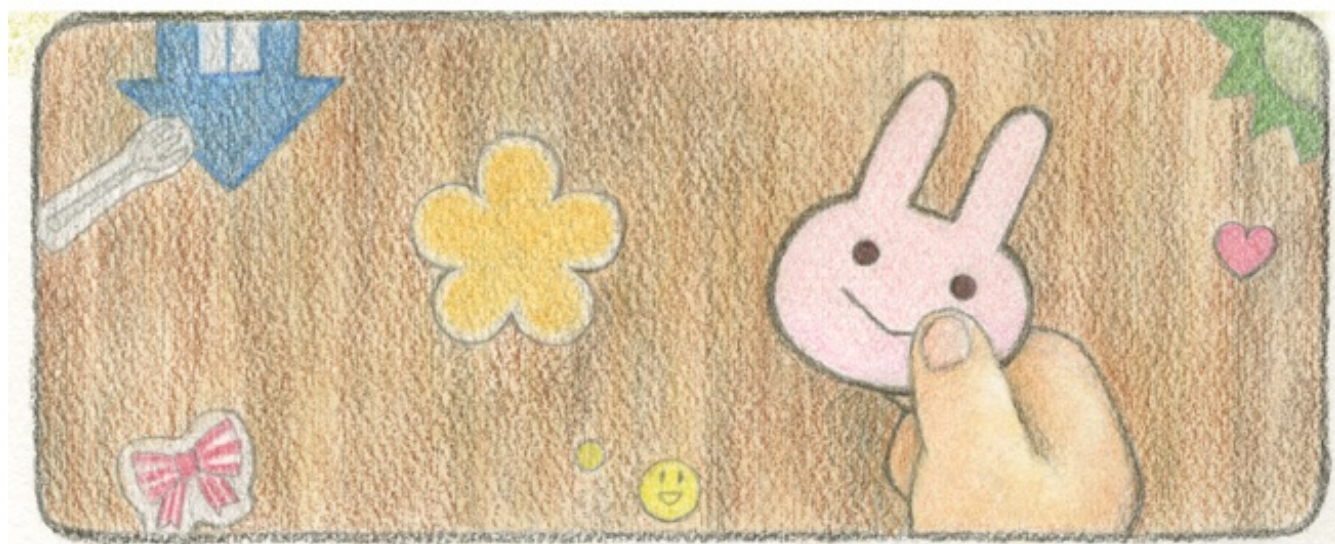


と ざしきへむかいました。

けれど、あれれ
おんなの子のすがたが見あたりません。

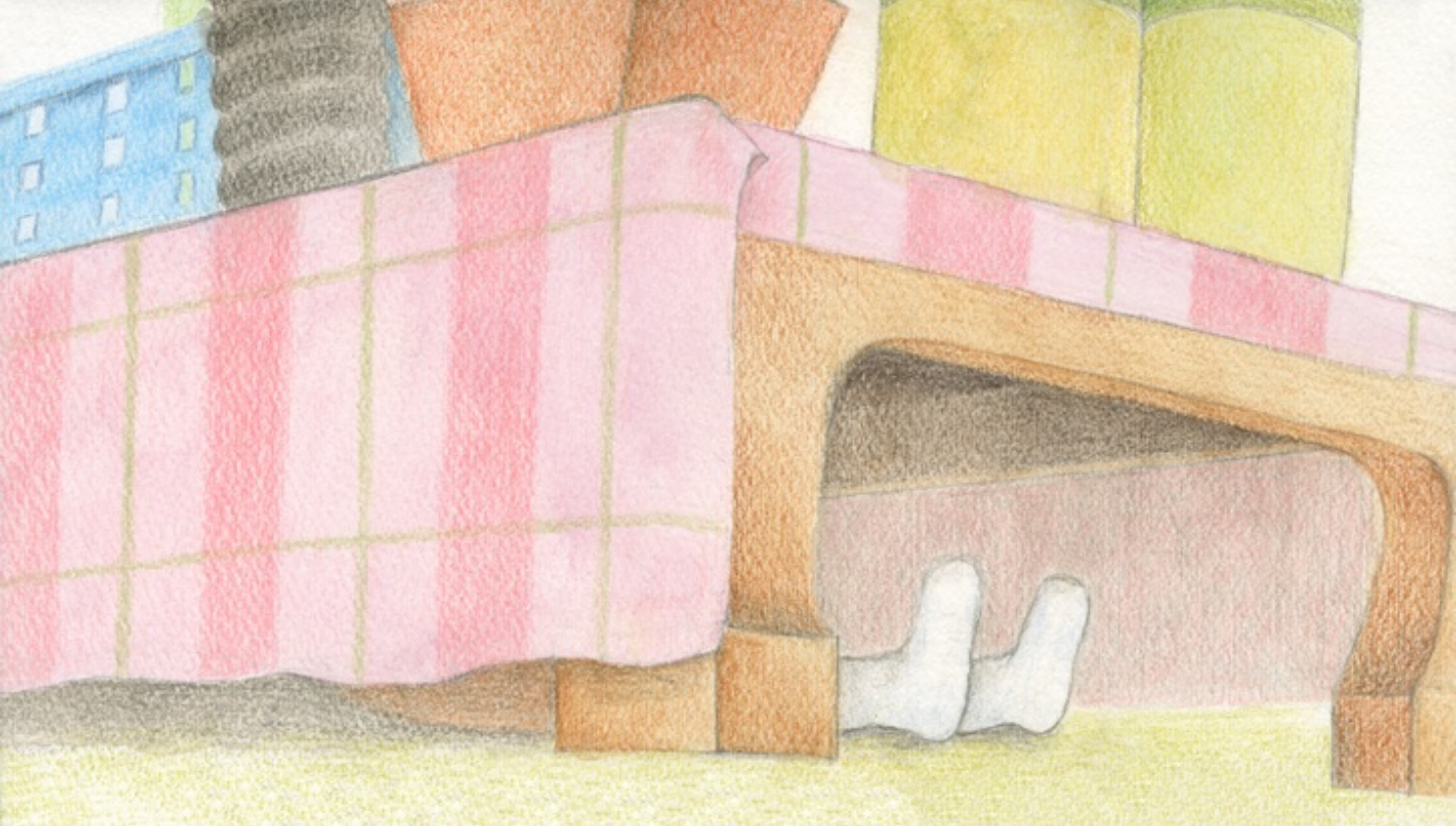


どこへ いったのでしょうか。



「きょうのシールは うさぎちゃん！」

おや？ここはどこでしょう



あらあら こんなに せまいところに。

どうやらおんなの子は、たのしく あそんだときには
シールをはる きまりがあるようです。



「にしししし」
おんなの子が まんぞくそうにしていると、

「ただいまー」
おかあさんが かえってきました。

おいしい おいしいばんごはん



きょうのおかずは、わたしの大好きな

イカのにももの！

おしまい